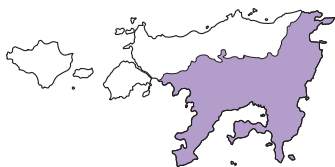


議会 だより



小豆島町

No.45

平成29年8月1日 発行



みんなと一緒にペタンクしたよ ペタンク大会 (B&G体育館)

- 審議議案
6月定例会について…………… 2
- 一般質問
7名の議員が質問…………… 3～7
- 住民の声・まちの力…………… 8

6月定例会

6月定例会が6月15日に開催されました。町長から提出のあつた繰越計算書の報告3件のほか、専決処分案件2件、契約案件4件、平成29年度一般会計補正予算案件1件など、合計7議案が提出され、原案通り可決しました。また、一般質問には7名の議員が登壇し、論戦を展開しました。

一般会計

追加補正額

2億4,588万円

審議した主な議案

補正予算

一般会計(第1号)

追加補正予算額

2億4,588万円

補正後の予算総額

100億

5,788万円

となります。

主なものは次のとおりです。

(総務費関係)

ふるさとづくり

基金積立金

200万円

寄付金を財源として、



安田自治会館

基金へ積み立てます。寄付者の意向により、スポーツ振興に活用します。

自治総合センター

コミュニティ助成事業

190万円

地域防災組織

育成助成事業

200万円

室生地区の防災倉庫、

防災機材の整備に対する助成金です。

Q 事業の流れはどの様になっているのか。

申請件数はどのくらいあるのか。

A コミュニティ助成

については企画財政課、



寄付金と共に寄贈を受けた不動産

地域防災組織育成助成については総務課が窓口になっている。要望は先着順で40件ほどが順番を待っており、年に1、2件ほど採択されている。

避難所用備品購入事業

123万円

畳と段ボールの間仕切りがセットになった避難所用備品を購入します。

松山善三・高峰秀子

基金積立金

2億円

松山善三、高峰秀子

夫妻の相続人からの寄付金を積み立てます。

夫婦の顕彰や映画関係

者の表彰事業等に活用します。

また、寄付金とは別に不動産や絵画などの寄贈を受けました。

(商工費関係)

地域振興基金積立金

800万円

寄付金を財源として、

基金へ積み立てます。寄付者の意向により、観光振興に活用します。

岬の分教場

整備運営基金積立金

810万円

小豆島ふるさと村

整備運営基金積立金

500万円

小豆島オリブ公園

整備運営基金積立金

1,000万円

寄付金を財源として、

基金へ積み立てます。

それぞれの団体が運営する施設の整備に活用します。

(土木費関係)

ポンプ場長寿命化

更新事業

165万円

植松ポンプ場の更新事業について、補助額増による変更補正です。



植松ポンプ場

(教育費関係)

学校振興補助金

50万円

寄付者の意向により、

苗羽小学校音楽部を育てる会に対して補助します。

心の交流事業補助金

20万円

安田小学校で、いじめ、不登校などの未然防止を図ることを目的とした事業を行います。

専決処分

条例の一部改正

- ・小豆島町税条例
- ・小豆島町国民

健康保険税条例

国民健康保険税の1人あたりの控除対象所得が、5割軽減対象者は5千円、2割軽減対象者は1万円拡大されます。

Q 本町ではどのぐらいの世帯が該当するのか。

A 5割軽減に該当する世帯は452世帯から457世帯に、2割軽減に該当する世帯は332世帯から336世帯に増加する。

工事請負契約

老健うちのみ跡地利用
改修に係る工事関係

庁舎改修に係る工事
契約金額

3億6,920万円
契約先 (株)合田工務店



旧老健うちのみ

電気設備に係る工事

契約金額

1億4,904万円

契約先

(株)中電工小豆島営業所

機械設備に係る工事

契約金額

1億1,956万円

契約先

田中電気工事(株)

町立三都公民館

建設工事

契約金額

9,461万円

契約先

(有)長瀬工務店

Q 敷地面積はどのぐらいあるのか。

A 約10,000㎡売却し、約2,000㎡を購入した。

Q 売却額はいくらであったのか。

A 建物の撤去費を差し引き、4,291万円だった。

Q どういった特徴があるのか。

A これといった特徴はありませんが、大会議室・小会議室・調理室等、公民館としての機能を有したものである。



三都公民館建設予定地



柴田 初子 議員

学校のトイレ改善について

町「現場の声をよく聞いて検討したい」

内海地区3小学校を統合する方向性があるので洋便器を増設することとは考えていない。

質問 最近では自宅の洋式トイレで育った世代が学校の和式トイレに抵抗を覚えて、学校で大便をしない小学生は3割に上っているとの調査結果が出ている。町内の各小学校も洋式トイレが少ない。特に苗羽小学校は築56年で最も古い。トイレについて現状と洋式トイレを増やす考えは。

答弁 (教育長)各トイレに1ヶ所、洋便器に改修している。香川県の洋便器の割合は41.1%、町全体では平均を2.8%上回っているが小学校は6.9%下回っている。

本町では、小豆島高校跡地への中学校校移転。その後、中学校に

質問 学校のトイレは子どもたちだけでなく、震災時には避難所になる。その時に、多くの老若男女が利用する。筋力の弱い高齢者など和式が使えないケースがある。3小学校の統合はH34・4月開校の予定と聞いている。5年も先である。前向きな答弁を。

答弁 (町長)各小学校の校長先生や現場の先生の声をよく聞いて、できるものであれば、統合を待つまでもなく実現できるかどうか検討したい。



各小学校のトイレの様子



坂口 直人 議員

小豆島特別支援学校

設立について

町 「高等部を含めて島内でふさわしい
学びの場の設置も検討する」

質問 1 スケジュール
進捗状況は。
2 小学部・中学部だけでなく高等部の設立
要望
社会貢献、社会参加を目指す上で重要だが、現在の方針は。
3 安心して小豆島で暮らすために
地域の中に居場所が確立され、働く場があり、総合的なサポートが受けられることが重要。生涯を考えた取り組みが必要だと思うが。
4 開かれた学校環境
学校が隔離された場とならぬよう、環境づくりや取り組みが必要では。
5 障害者施設の視察
先進地の施設を視察し、良い点を取り入れ、質の高い場に

なっている。
6 他の特別支援学校との交流
先生やスタッフが意見交換や相談ができる状態にしてほしいが。

答弁

1 今年度予算は、基本計画委託料、視察研修を含めた500万円である。5月には、県教委内にワーキンググループを設置し、検討を進めている。
2 高等部を含めて島内でふさわしい学びの場の設置も検討する。小豆地区特別支援学校の協議とあわせ、ぬくもりと希望の島づくりの取り組みの中で検討協議を行う。
3 障害に対する理解が不可欠であり、広

く住民に理解を促している。障害のある人の学びの場、暮らしの場、働く場、交流の場の4つの柱を掲げ、取り組みを実施したい。
4 安全の面から、自由に人が行き来できるような環境は難しい。地域と各学校との交流をはかりたい。
5 土庄町、小豆郡手をつなぐ育成会、町議会議員にも参加を促し、先進地を視察する予定だ。
6 高松養護学校の協力で、週1回の意見交換や相談を行っている。

特別支援学校が開校すれば、各学校の特別支援学級の担任にとって、意見交換や相談ができる体制が構築できる。



安井 信之 議員

離島指定のデメリット解消について

町 「デメリットを受けることがないよう、積極的に発言、問題提起をしていきたい」

質問 離島振興法に伴う数々のメリットがあるが、離島というだけでサービスの提供が受けられない事例があるが。

答弁 小豆島は、長い間、離島振興法の離島ではなく、離島指定のデメリットも懸念され

る。離島振興法により、いろいろな面で国の補助金を受け、助金の支援を受けて、それなりの意味があると思うが、日本離島セクターの会議でデメリットを受けることがないよう、積極的に発言、問題提起をしていきたい。

町施策の共通認識の必要性について

町 「議論しながら施策を立案し進めていく」

質問 行政として問題認識、問題解決に対して、全ての課が歩調を合わせていくことが当然必要では。

答弁 全くそのとおりだ。以前は縦割り行政で良かったが、横割り行政で、町に合った施



町職員への町長講話の様子

策を展開することが必要になっている。役場の中のそれぞれ、の課が一緒に議論して、施策を横軸でつないでいくということが必要になっている。一人一人の職員がそれぞれ他の課の仕事との連携をとることは、とても難

しいことである。時間はかかるが、なるべく若い職員と議論しながら施策を立案し進めていくやり方に少しずつ変えていく段階だと思う。



水道の県広域化の不安について

町「水道事業を安定的に

やっていくのが広域化の目的である」

質問 麻生副総理が4年前、公の場で「日本の水道を民営化する」と発言したと聞いて不安を持った。県はその先端なのか。水の惑星と言われる地球は、海

答弁 県は民営化の先頭ランナーではない。

水道事業を安定的にやっていくのが広域化の目的で民営化を狙うものではない。安心して欲しい。

みんなで考えるべき平和問題

町「平和問題は町長のミッションで

世界に発信してゆく」

質問 北朝鮮の問題が連日、報道されているが他の国の圧力を招くだけで平和の方向を向いてない。自衛隊のイラク派遣で、ある人が「自衛隊は専守防衛で、良い職場だと思いで若者が死んだらわしは腹を切らないかん」

答弁 戦争は2度と起こしてはいけない。オバマ前大統領の広島訪

と言った。日本は災害や地震も多く私達も自衛隊に助けられた。あの戦争で9条も生れた。オバマ前大統領も広島で慰霊した。憲法は世界平和を目指している。



木庄川で復旧作業をする自衛隊（49災害）

問に感動した。平和問題は町長のミッションで世界に発信してゆく。

夜も明るい道路をめざしては

町「街灯の維持管理は自治会にお願いしている。

助成方法等を検討していきたい」



質問 以前に商工会が店名を表示した大型の水銀灯を設置して久しい。それ以前に設置されたものは点灯していない街灯がたくさん見受けられる。根元が腐食して強風でいつ倒れるか分からない危険な鉄柱になっていると思われる。消費電力の少ないLED街灯を民家や店舗がメーターを通して「奉仕灯」として設置してもらうと、夜も明るい道となり、防犯上、交通安全上、夜

の健康ウオークも安心してできる。
LED街灯は10ワットでも、とても明るく、夜の12時間点灯で料金は1カ月約100円だそう。軒先に家から電線を伸ばすだけで簡単に取り付けが出来る。道路に面した民家や商店にLED街灯を設置する運動を起こしてはどうか。

まだ不足していると思うので、奉仕灯という形で、LED街灯を増やしていただければ、防犯上、交通安全上、非常に効果があると思うが、各個人に設置や維持管理費用のかかることなので、無償でお願いすることは難しい。助成方法は検討して、来年度予算に織り込みたい。

答弁 現在、町内の街灯の設置や維持管理は自治会にお願いしており、管理費の一部を補助している。設置数は



商工会が設置した街灯

問に感動した。平和問題は町長のミッションで世界に発信してゆく。

設置数は

「水族館構想の白紙」とは

町「実現できず、深くおわびする」



大川 新也 議員

質問 3月下旬に新聞で「水族館構想の白紙」と報道された。町民にとっては正に寝耳に水であった。

2年前に水族館構想のための用地取得と町道拡幅の予算が計上された時、「時期尚早ではないか」と念を押したが、「構想のために重要」と執行された。

その後、2度ほど議会にて経過報告があり、「白紙の状態」とは聞いていたが、今回の白紙報道は事前に議

会また町民への説明もない。

この件に関し、反省する点は。

もう少し慎重に行うべきではなかったのか。

答弁 水族館については、多くの町民の皆さんが期待をされていたにも関わらず、結果的には実現できなかったことは深くおわびしたい。

反省すべき点はいくつかあるが、実現出来なかったことは、全て私の判断ミスである。

町道拡幅は地元要望を実現できたが、土地については、坂手港は小豆島の玄関として今後とも活性化を模索し、有効利用を考えていくことが必要と思う。

旧小高跡地の管理と今後は

町「跡地利用を決め、管理を伴う用地交渉に」



購入した用地

あった。毎年高校周辺の溝清掃、雑草処理をしており、今年も時期が来たとのこと。

閉校して2カ月余り経ち、広大な敷地には雑草も生え、樹木も伸び始めてきている。夜は校舎・周辺の街路灯も全て消え暗黒化しており、防犯面でも心配しているのが現実だ。

今後の管理はどのように対応するのか、県との交渉はどのようなになっているのか。

答弁 小高跡地への思いは共通する点である。早急に県知事・県議会議長へお願いに行きたいが、町として跡地利用として中学校移転を含めたこれからの学校のあり方について、正式に決定する手順を踏む必要があると考えている。

質問 先日、旧小高跡地近隣の自治会より「小高跡地の管理はどのようにになっているのか。」との問い合わせが

現在の管理状況は高校の教職員が月に数回校内巡回を行っている。除草・樹木管理を随時行っていく。

要望 町として、跡地利用の結論も大事と思うが、まず跡地管理交渉を早急に。

意義のある「イクボス宣言」に
町「今回宣言したことは
実行する」



閉ざされたままの旧小高校門

質問 6月1日開催された「小豆島町イクボス宣言」が大きく報道された。

質問 6月1日開催された「小豆島町イクボス宣言」が大きく報道された。

質問 6月1日開催された「小豆島町イクボス宣言」が大きく報道された。

当然、イクボスとは、簡単には職場で共に働く部下の仕事と生活の両立を考え、人生を応援し、業績も出し、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことである。

だが現状では、職員の超過勤務、庁舎内の雰囲気など多々見受け

答弁 イクボス宣言というのは、宣言することには意味があるのではなく、宣言したことを実行することに意味があると考えている。現状では実行がほとんど伴っていないことはよく認識しており、必ず今回宣言したことは実行したい。

交通弱者の交通手段の確保を

町「さまざまな施策で、誰もが安心して暮らせるまちをめざす」



鍋谷真由美 議員

―導入、セニアカー補助・貸与なども検討すべきではないか。

答弁 通院困難者支援事業の対象者のうち障害者の対象者数は135名で、申請交付者は3名。要介護認定の対象者数は、約110名で申請交付者は16名。

質問 高齢化が進む中、高齢者や障害者など歩行が困難な方で、買い物、通院などの日常生活に不自由を感じている交通弱者と呼ばれる町民が安心して日々の生活ができるよう、生活の足を確保することは重要な課題。通院困難者支援事業の現在の実施状況は。

買い物は、介護保険サービスや障害福祉サービスの訪問系サービス、軽度家事支援事業でも可能であり、商工会や一部事業所が実施している移動販売車等、各分野で対応をしたい。デマンドタクシーは、現時点で導入は考えていない。セニアカー補助等は検討したい。

老人介護施設職員の待遇改善を

町「ワーク・ライフ・バランスのとれた職場づくりから取り組みたい」

質問 特養を増やしてほしいという町民の願いにこたえ、特別養護老人ホームが完成・開設されたが、現在の状況はどうか。

また、職員が不足している状況の中、介護職員の待遇の改善が必要ではないか。

答弁 6月1日に旧内海病院に介護老人保健施設うちのみが移転、特別養護老人ホームうちのみがオープンし、現在の入所者は、老健23名、特養25名。特養定員60名に対し、84名の申し込みがあった。入所判定後、順次入所手続を行い、7月に満床になる予定。



介護保険施設の室内

マンパワー確保は給与と労働環境の向上が重要だが、民間と比較してやや高い水準であり、安定経営の観点からも給与水準を上げることは困難。多様な働き手を確保し労働環境の向上を常に見直す。

給食費の無料化を

町「一部補助拡大は検討する」

質問 学校給食法は食育の推進をかね、憲法26条は「義務教育は、これを無償とする」としている。

全国で、給食費の保護者負担を全額補助しているのは兵庫県相生など4市28町23村。一部を補助する市町村が362ある。

子育て一番をめざしている本町でも学校給食の無料化を求める。多子世帯の補助、産地食材の使用の補助など一部補助からでも実現すべきではないか。

答弁 給食の賄い材料費のみが保護者の負担で、全体の14・4%の経済的困窮度の高い世

帯の児童・生徒には、支援がある。負担できる保護者には負担していただくことが基本。オリーブオイル等の賄い材料費として100万円の補助をしており、増額は検討したい。

子育て支援策は、今後も見直し、拡充が必要、その中での議論も含めて、多子世帯等については検討をしたい。



給食の様子

一般質問



「地域の力を 集結して」

平井 俊秀

(上地自治会 総代)

上地自治会は、池田地区に在って池田大池付近の国道436号より北側に位置し、北部は大麻山、東部は段山があり、そこを源とする池田大川が地区の中央を流れています。人口は約510名、世帯数は約200戸の中山間地域に展開する農村集落です。

地区の主産業は農業であり、かつては電照菊が盛んで、時期が来れば地域はハウスの電灯に照らされ一見都会並みの明るさが出現したものです。現在は菊畑の多くがオリーブ栽培に変わり、銀の葉風で波打っています。

地区の文化遺産として明治40年に国の重要文化財に指定された「明王寺釈迦堂」があります。棟札により1533年に完成され、当時は

高宝寺の本堂として建立されたようです。しかし、明治になり廃寺となったため現在の明王寺が管理しています。また同寺では毎年4月初旬、境内の桜が満開になる頃「花まつり」が催され、地区内外の人々が集まり餅投げやうどんの接待等で賑わっています。

町内の各自治会ほとんどが同じ悩みを持っていると思いますが、当地区も同様に耕作地の荒廃が進み空き家が増えています。農地の荒廃は鳥獣被害を招くだけでなく、大雨による土砂災害の原因にもなります。過去には当地区も大災害を経験しましたが、各世代間や地域の交流等を密にして、想定される災害に備えるだけでなく、明るい元気な声があふれる自治会になってもらいたいと願っています。



明王寺釈迦堂



上地地区

議会を傍聴しませんか。

次回定例会の予定は

9月中旬です。

なお、小豆島町議会に政務活動費制度はありません。



卒業遍路実行委員会

進学・就職などで、島を離れる若者たちの多くが、自分の住んでいた地域以外の小豆島を知りません。島外で知り合った人に、故郷のことを自らの言葉で語り、その魅力を伝えられるようになつて欲しい。そんな想いで、小豆郡内の中高生を対象に、卒業シーズンに『卒業遍路』を始めて3年になります。

卒業遍路は、歩き遍路を通じて、小豆島の良さを知ったスタッフが、実体験に基づいて企画運営しています。お遍路さん限定の宗教行事ではなく、島全体に分布する札所を自らの足で巡ることによって、道から集落から文化から歴史から、まるごといつぱんに小豆島を知る機会となります。

これまでに延べ96名の参

加者があり、福祉施設利用者の代参や、学校の理解、企業の協力など、行事自体が少しずつ浸透していつている手応えを感じています。また、昨年の卒業生がスタッフとして帯同するなど、縦の関係も生まれ、これから島の恒例イベントとして続けていきたいと思っています。

【お問合せ】

事務局 大林 慈空

☎090-2386-1933



URL: <http://aruki-henro.com>
MAIL: info@aruki-henro.com

編集後記

我々編集委員も今回「議会だより45号」の編集を終え、来年の改選まで1年を切り、現委員での本誌発行も残すところ3回となりました。

この間、全委員は町民の皆様

「いかに読み易く、理解して頂けるか」

「いかに議会の様子を解り易く伝えるか」

「いかに議員の思いを」とどけるか」

を念頭に幾度となく会を重ね、知恵を絞って編集して来ました。

その成果は解りませんが、手応えはあったと自負しています。

今後ともご愛読下さい。

い。

大川 新也 記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp

議会だより 平成29年8月1日 8